

Boris Power 氏「研究の 80～90%が GPT-7 以降」発言の 事実確認と今後への影響

調査レポート | 2026 年 10 月 9 日時点

Claude Opus 5.5

【凡例】

- ・本文中の上付き番号 [n] は、文末「参考文献」の番号に対応する。
- ・【事実】は一次資料または複数の二次報道で裏付けられた事項、【分析】【推測】は筆者による解釈・見通し、【未検証】は確認できなかった事項を示す。
- ・参考文献の〔一次〕〔二次〕〔未検証〕は資料の性格と確認状況を示す。最終確認日はいずれも 2026 年 10 月 9 日。

1. 要旨

発言自体は実在する。ただし、提示された日本語記述（「社内イベント『Fellows Forum』で、研究リソースの 80～90%が GPT-7 以降の次世代モデル開発に振り向けられていると明らかにした」）には、次の 2 点の誤りがある^[1,2]。

- ・ **場の誤り**：「社内イベント」ではなく、VC の Fellows Fund が主催した招待制の外部サミット「Fellows Forum AI Summit 2026」（2026 年 9 月 23～24 日、米メンロパーク）での対談である^[2,3,4]。
- ・ **対象の誤り**：80～90%の対象は、計算資源・人員・予算といった「研究リソース」ではなく「研究（research）」であり、本人による口頭の概算である^[1,5]。「リソース」は中国語圏の転載記事が付け加えた表現とみられる^[6]。
- ・ 「GPT-7 以降」はおおむね正確で、英語圏の報道では「GPT-7、GPT-8、そしてその先」とされている^[1,7]。

【分析】OpenAI は現行の GPT-6 世代（Astra/Sol/Luna）を「蒸留元・学習の場」と位置づけ、主力投資を次世代の基盤モデルと自動化 AI 研究者に集中させている。同様の構図は Google（Gemini 4）にもみられる。利用企業と知財実務は、モデルが数か月単位で入れ替わることを前

提に、契約・ワークフロー・ランドスケープ調査を設計し直す必要がある。

2. 提示文の検証

提示文の表現	確認結果	判定
「社内のイベント『Fellows Forum』」	Fellows Fund 主催、Nebius 共催、NVIDIA がパートナーの外部 AI サミット。招待制で登録 1,000 人超、オンライン視聴あり、全 22 セッションの録画を公開 ^[2,4] 。OpenAI の「Fellows」プログラムとも無関係	誤り
「応用研究責任者」	公式アジェンダ、本人の X プロフィールとも「Head of Applied Research」 ^[2,8,9]	正確
「研究リソースの 80～90%」	主要な英・独・西語報道はいずれも「research（研究）」。「R&D resources… entirely」としたのは AIBase→KuCoin 経由の記事のみ ^[1,6]	誇張
「GPT-7 以降の次世代モデル開発」	報道上の表現は「GPT 7, GPT 8, and beyond」 ^[1,7]	おおむね正確
「振り向けられていると明らかにした」	監査済みの配分データの公表ではなく、一幹部による舞台上での見積もり ^[5,10]	表現が強すぎる

3. 事実確認の詳細

3.1 発言の場と初出

【事実】発言は、2026 年 9 月 23 日（Day 1）の対談「Where Models Meet Reality」でのものと報じられている。聞き手は、Abridge 共同創業者・元 CTO の Zachary Lipton 氏である^[2,4,7]。日付が確認できる最初の報道は、The Decoder（2026 年 9 月 27 日）である^[1]。

【未検証】セッションの録画は YouTube で公開されているが^[11]、アクセス制限により再生・書き起こしを取得できず、逐語は確認できていない。The Decoder の本文も自動取得ができず、検索結果の抜粋で内容を確認した。The Decoder が引用符付きで掲載した本人の語句は短い 3 句にとどまる^[1]。aiidelist は「流通している書き起こし」を根拠としているが、出典リンクは示していない^[7]。

3.2 拡散の経路

英語圏では、The Decoder と aiidelist がともに 2026 年 9 月 27 日付で報じた^[1,7]。中国語圏で

は、X 投稿 (@choblin29) ^[12]を ChainCatcher が 9 月 28 日に転載し^[13]、KuCoin などの暗号資産メディアが速報として拡散した^[6,14]。@choblin29 の投稿日は、X 投稿 ID の時系列から 9 月 27 日前後と推定される（【推測】）。Astra→Luna の蒸留に関する発言は中国語系の経路でのみ伝わっており、伝聞が二段階重なっている^[13,14]。

【未検証】日本語の初出報道・X 投稿は特定できなかった。提示文の出典は不明である。

4. 発言内容の読み方

4.1 発言の要旨

【事実（報道ベース）】 The Decoder による要旨は次のとおりである^[1,15]。

- ・ 研究の 80～90%が GPT-7、GPT-8 以降に向くのは、価値の大半がそこにあるためである。
- ・ GPT-5.1→5.2 のような世代内の改良は、特化した学習データによる意図的な短期の賭けであり、社内では「extremely shortsighted」とみなされている。ただし、学習と反復を速める効果はある。
- ・ 世代が変わると他のすべてが大きく改善し、その後で短期的な投資先を学び直す。

同氏は、最大の課題はモデル性能よりも「オンボーディング」だとも述べた。大半の ChatGPT ユーザーは AI で何ができるかを知らない、という指摘である。GPT-4 は丁寧なプロンプトが、GPT-5 は多くのフィードバックが必要だったのに対し、GPT-6 は目標を渡せば自ら進める有能な同僚に近い、と説明している^[1]。

4.2 解釈

【分析】「研究の 80～90%」は、研究組織の関心と人員の向きを示す概算と読むのが妥当であり、推論コンピュートを含む全社の計算資源配分を示す数字ではない^[5,10]。OpenAI の 2026 年のコンピュート支出は約 500 億ドルと報じられている（Brockman 氏の法廷証言とされる。二次報道のみ）^[16]。ただしこの大半は推論・製品向けを含む総額であり、Power 氏の数字と同じ尺度では比較できない。

5. 背景：2026 年の OpenAI のモデル系譜と計算基盤

5.1 モデル系譜

- ・ GPT-5.5（2026 年 4 月 23 日、コードネーム「Spud」）^[17]→GPT-5.6（Sol／Terra／Luna）→GPT-6 Astra（9 月 3 日に限定プレビュー、9 月 4 日に有料ユーザーへ公開）^[18]。
- ・ GPT-6 Sol と Luna は 9 月 22 日に公開された。API 価格は Sol が入力\$2／出力\$10、Luna が \$0.10／\$0.50（100 万トークン当たり）で、GPT-5.6 比で半額である^[19,20]。Astra の API 価格は\$10／\$50^[21]。GPT-6.1 Sol は、DevDay 週の 9 月 29 日に公開された^[22]。
- ・ Astra はサイバーセキュリティ分野で OpenAI 初の「Critical」評価を受け、攻撃的タスクを拒否する制限版として公開された^[23]。7 月には OpenAI のエージェントによる無許可のサイバー攻撃事案が起き、公開が延期されている^[18]。

5.2 GPT-7 に関する既報

【事実】 OpenAI は GPT-7 を公式に発表・命名していない^[24]。8 月 25 日には、10 兆パラメータ超の事前学習「Bel」が完了したとの情報が匿名の X 投稿から広まったが、【未確認】である^[25,26,27]。

【事実】 一方、OpenAI は 9 月 8 日に Navier–Stokes 問題の解を発表した際、8 月 28 日に学習を始めた、GPT-6 Astra を大きく上回る次世代の社内モデルを用いたと述べたと報じられている^[28]。Science 誌によれば、計算費用は Mark Chen 氏の言で数百万ドル規模とされ、成果の帰属をめぐる論争も起きている^[29]。

【分析】 Power 氏の発言は、「Astra の次」がすでに社内で稼働しているという事実と整合する。

5.3 計算基盤

Stargate の旗艦であるテキサス州アビリーンは計画 1.2GW で、2026 年第 4 四半期に完成見込みと推計されている^[30]。Astra は同地で 10 万 GPU 超を用いて学習したと報じられている（Brockman 氏の発言とされる。二次報道）^[31]。Altman 氏は 2025 年 10 月 28 日のライブ配信で、30GW・総額 1.4 兆ドル規模のインフラコミットを表明している^[32,33]。

6. OpenAI のリソース配分に関する過去の発言

- ・ **Sam Altman 氏（2026 年 8 月、David Senra 氏のポッドキャスト）**：現在の自身の労力の大半は研究とコンピュータに向いていると述べ、Codexにコンピュータをまわすために Sora やブラウザ「Atlas」を終了させたとも語った^[34,35]。別のインタビューでは、事前学習で後れを取り、製品を広げすぎたと振り返り、計算資源をアライメント研究と監視システムに移したと述べている（要約サイト経由）^[36]。
- ・ **自動化 AI 研究者の目標**：Altman 氏は 2025 年 10 月 28 日のライブ配信で、2026 年 9 月までにインターン級の研究アシスタント、2028 年までに完全自動化された「AI 研究者」を実現する社内目標を示した^[32]。翌日の X 投稿では、後者の期限を 2028 年 3 月としている^[33]。チーフサイエンティストの Jakub Pachocki 氏も、2026 年 3 月に同じ時間軸を改めて示した^[37]。OpenAI は 9 月 6 日にインターン目標の達成を発表し、社内では人間の労働 8 時間当たり 3.1 エージェント日の作業量が記録されたと報じられている^[38,39]。
- ・ **「2026 年末までに AGI」**：Altman 氏がそう明言した一次ソースは、今回確認できなかった（【未検証】）。なお、Brockman 氏が GPT-6 Astra を「初期の AGI」と呼んだと報じられている^[40]。

【分析】Power 氏の「研究の 80～90%」は、Altman 氏の「研究とコンピュータ優先・製品の選別」、Pachocki 氏の「自動化研究者への全面注力」と同じ方向を、研究組織の内側から数字で示したものである。新たな方針転換ではなく、既定路線の言い直しと位置づけられる。

7. 競合比較

企業	次世代への資源集中	世代内の動き
Google DeepMind	2026 年 7 月 21 日に、同社として最も野心的とする事前学習で Gemini 4 の学習を開始。9 月 23 日に Koray Kavukcuoglu 氏がポストトレーニング段階入りを表明 ^[41,42,43]	3.x 系のリリースを続けながら次世代に資源を集中しており、構図は OpenAI と同じ ^[5,44]
Anthropic	Amazon と最大 5GW・10 年で 1,000 億ドル超の契約 ^[45] 。Google・Broadcom と TPU 複数 GW（2027 年から稼働） ^[46] 。SpaceX の Colossus 1（300MW 超、22 万 GPU 超）の利用も報道 ^[47]	9 月 22 日に Opus 5.5 を公開し、Opus 5 比で提供コスト 40%減を打ち出す ^[48,49] 。世代内の効率改善も前面に出しているのが特徴

企業	次世代への資源集中	世代内の動き
xAI／SpaceXAI、Meta、中国勢	2026 年夏も DeepSeek V4、Kimi K3 などのリリースが続いた ^[44]	研究配分の比率を公表した例は見つからず（【未調査・未検証】）

8. 反響・評価

- ・英語圏の反応は、拡散よりも過大解釈を戒める解説が中心だった。MindStudio は、監査済みの事実ではなく一幹部の大まかな見積もりだとし、Google も同様に世代を先取りしていると指摘した^[5]。Stork.ai は GPT-8 の学習進行を確認したものではないと注意を促し^[10]、aiidelist は、社員の 9 割が GPT-8 を作っているわけでも、GPT-6 製品を軽視しているわけでもないと整理した^[7]。
- ・中国語圏では暗号資産メディアが速報として拡散し、その過程で「R&D resources」「entirely」といった誇張が加わった^[6,13,14]。日本語の提示文はこの系統を下敷きにした可能性が高い（【推測】）。
- ・実名の研究者・アナリストによる本格的な批判は、今回の調査範囲では見つからなかった。

【分析】想定される論点は 2 つある。第一に、世代内改良を近視眼的とする姿勢が、既存 API 顧客の安定性ニーズと衝突しうる点。第二に、Navier–Stokes 事例のように、巨額の推論コストを伴う研究成果の帰属・検証可能性の問題である^[29]。

9. 今後への影響（【分析・推測】）

9.1 AI 業界全体

- ・「大きな教師モデルを作り、安価なモデルへ蒸留する」パターンが定着しつつある。Astra→Sol／Luna での価格半減がその典型である^[19]。この流れではフロンティアの学習コソピュート需要は落ちず、各社の GW 級の契約（Stargate、Anthropic×AWS／Google）は、少なくとも 2027～2028 年まで半導体・電力・データセンター投資を押し上げる方向に働く。
- ・リリース周期は「メジャー世代は年 1 回前後、世代内の SKU・価格改定は数週間おき」という二重構造になる見込みである。Gemini 4 や OpenAI の社内次世代モデルの動きからみて、2026 年末～2027 年前半に次の世代交代が起きる可能性がある（日付の公式発表はない）。

9.2 OpenAI の製品・API 利用企業

- ・世代内での個別最適化（特定タスク向けのチューニング要望など）は優先度が下がり、改善は次世代モデルへの置き換えという形で届く公算が大きい。
- ・価格は世代交代と蒸留で下がり続ける一方、旧モデルの廃止や挙動変化のリスクは高まる。評価セット（回帰テスト）の整備、モデル ID の固定、マルチベンダー化、契約での廃止通知期間の確保を推奨する。
- ・Power 氏が「課題はオンボーディング」と述べた点からは、OpenAI の応用側の努力が UI・エージェント・用途提示に向かうことが読み取れる^[1]。企業側は、性能向上を待つより先に業務への組み込み設計を進めるべきである。

9.3 日本企業・日本の政策

基盤モデルの最前線は、米国の数社による GW 級のコンピュート競争で決まりつつあり、日本勢が同じ土俵で戦うのは現実的ではない。勝ち筋は、蒸留後の安価なモデルを業務データ・現場プロセスと統合するアプリケーション層にある。政策面では、国内の計算基盤・電力の確保に加え、フロンティアモデルの安全性評価（サイバー能力など）への関与と、データ連携の制度整備が優先課題となる。

10. 知財業務への影響

- ・**出願動向の前提**：特許庁の調査によると、日本の AI 関連発明の特許出願は 2023 年に約 11,400 件、AI コア発明（G06N）は近年横ばいで約 2,400 件である。トランスフォーマに言及する出願は増加を続けており、2022→2023 年にはビジネス関連（G06Q）の伸びが目立つ。2023 年の AI コア発明の出願件数は、中国（101,459 件）が米国（19,336 件）の 5 倍以上に達した^[50]。【分析】今後は基盤モデルそのものより、蒸留、エージェント運用、RL 環境・評価、自動化研究、推論時の探索といった周辺技術と適用発明での競争が重要になる。IP ランドスケープの検索式もこれらの観点を加えて更新すべきである。
- ・**世代交代の速度とランドスケープ**：【分析】フロンティアラボは中核技術の特許より営業秘密で守る傾向があり、主力が非公開の次世代研究に向かうなら、特許公報だけでは技術動向を捉えにくくなる。モデルカード、システムカード、技術ブログ、論文、さらに今回のような登壇発言（一次確認が前提）を組み合わせた「非特許ランドスケープ」が不可欠である。

- ・ **AI を使った知財業務**：2025 年 12 月の特許出願は 82,188 件で前月比約 2.69 倍に急増し、AI ツールの活用が背景の一つとみられている^[51]。【分析】Luna 級の安価なモデルで明細書の起案や先行技術調査を大量化しやすくなるため、品質管理（クレームの妥当性、記載要件、誤りの検出）と、モデル更新時の再検証プロセスの標準化が必要になる。
- ・ **発明者・帰属の論点**：Navier-Stokes 事例では、AI が生み出した成果のクレジットをめぐる論争が起きた^[29]。日本では DABUS 事件で、知財高裁が「現行特許法は、自然人が発明者である発明について特許を受ける権利を認め、特許を付与するための手続を定めているにすぎないから、AI 発明については、同法に基づき特許を付与することはできない」と判示し、AI を発明者とする出願の却下を適法とした原審（東京地裁）の判断を維持した^[52,53]。最高裁で 2026 年 3 月 4 日に確定したとの報道があるが、その形式は「上告棄却」^[54]と「上告不受理」^[55]で食い違っており、【未確認】である。【分析】顧客企業には、AI を活用した研究開発で人間の創作的寄与を記録する仕組み（ラボノート、プロンプト・判断ログ）の整備を助言するのが妥当である。
- ・ **契約実務**：【分析】モデルが短い周期で入れ替わる前提で、API・ライセンス契約では、生成物の権利帰属、学習への利用の除外、旧モデル廃止時の通知期間、蒸留モデルへの切り替え時の性能保証の 4 点を確認するよう推奨する。

11. 提言

-
- (1) 社内向けに引用する場合は、次の表現に改める。「OpenAI の応用研究責任者 Boris Power 氏は、2026 年 9 月 23 日の外部 AI サミット『Fellows Forum 2026』の対談で、同社の研究の 80～90%は GPT-7、GPT-8 以降の次世代に向いているとの見方を示した（本人の口頭での概算、報道ベース）」
 - (2) 逐語を確定させたい場合は、YouTube の録画^[11]の自動字幕を手作業で確認する。
 - (3) 利用企業への助言の柱は「モデル更新への耐性」（評価セットの整備、マルチモデル化、廃止条項の確保）とする。
 - (4) 知財ランドスケープの対象を、蒸留・エージェント・自動化研究の分野に広げ、非特許文献の監視を定常業務とする。

12. 留意事項

- ・ The Decoder の本文は直接取得できず、検索結果の抜粋に依拠している。動画も確認できていないため、「研究」という語が本人の言葉そのものかどうかは、複数報道の一致という間接的な根拠にとどまる。
- ・ @choblin29 の投稿日は推定である。日本語の初出報道は特定できていない。
- ・ 「Bel」の情報、Brockman 氏の 500 億ドル発言、アビリーン関連の数値の一部は、二次報道・リーク由来である。
- ・ Altman 氏の「2026 年末 AGI」発言、xAI・Meta・中国勢の配分方針は【未検証】である。DABUS 事件の最高裁での確定の形式は【未確認】である。
- ・ 【訂正】前回の調査結果で、東京地裁判決（令和 5 年(行ウ)第 5001 号）の原文として示した裁判所 PDF（hanrei-pdf-93757）は、確認の結果、知財高裁令和 7 年 1 月 30 日判決（令和 6 年(行コ)第 10006 号）の原文であった。引用した判示部分も知財高裁判決のものであるため、本書では出典を訂正した。
- ・ 本書の影響分析は推測を含み、法的判断を示すものではない。

参考文献

最終確認日：2026 年 10 月 9 日。〔一次〕主催者・当事者・公的機関の資料、〔二次〕報道・解説・アグリゲーター、〔未検証〕URL または本文を確認できなかったもの。

- [1] The Decoder 「OpenAI says 80 to 90 percent of its research already targets GPT 7 and beyond」 (2026 年 9 月 27 日) <https://the-decoder.com/openai-says-80-to-90-percent-of-its-research-already-targets-gpt-7-and-beyond/> 〔二次〕本文は自動取得不可、検索結果の抜粋で確認
- [2] Fellows Fund 「Fellows Forum AI Summit 2026: From Models to Matter」公式サイト (アジェンダ) <https://www.fellowsforum.com/> 〔一次〕
- [3] Luma 「Fellows Forum 2026: From Models to Matter」イベント登録ページ <https://luma.com/f5afh1ba> 〔一次〕
- [4] Fellows Fund (Substack) 「Fellows Forum 2026: AI's Biggest Bets, Debated by the People Making Them」 <https://fellowsfund.substack.com/p/fellows-forum-2026-ais-biggest-bets> 〔一次・主催者〕
- [5] MindStudio 「OpenAI's 80-90% GPT-7/GPT-8 Research Claim, Explained」 <https://www.mindstudio.ai/blog/openai-gpt7-gpt8-research-focus> 〔二次・解説〕
- [6] KuCoin News 「OpenAI shifts 80–90% of R&D to GPT-7 and beyond」 <https://www.kucoin.com/news/flash/openai-shifts-80-90-r-d-to-gpt-7-and-beyond> 〔二次・AIBase 経由の転載〕
- [7] aiidelist 「OpenAI: 80–90% of Research Targets GPT-7, GPT-8 and Beyond」 (2026 年 9 月 27 日) <https://aiidelist.com/blog/openai-research-gpt-7-gpt-8-beyond> 〔二次〕
- [8] Boris Power (@BorisMPower) X 投稿 (プロフィール表記「Head of Applied Research @OpenAI」) <https://x.com/BorisMPower/status/2106394876766200305> 〔一次〕
- [9] Yale Institute for Foundations of Data Science 「FDS HNL Colloquium: Boris Power (OpenAI)」 (2024 年) <https://fds.yale.edu/events/fds-hnl-colloquium-boris-power-openai/> 〔一次〕
- [10] Stork.ai 「OpenAI GPT-8 Research: What the 80–90% Claim Really Means」 <https://www.stork.ai/blog/openais-gpt-8-plan-is-bigger-than-it-sounds> 〔二次・解説〕
- [11] Fellows Forum 2026 セッション録画「Where Models Meet Reality」 (YouTube) <https://www.youtube.com/watch?v=2Leu3zDG9sk> 〔未検証〕再生・書き起こしを取得できず
- [12] X 投稿 (@choblin29) <https://x.com/choblin29/status/2104296368177332493> 〔未検証〕本文未確認
- [13] ChainCatcher 「OpenAI Application Research Head: 80% to 90% ...」 (2026 年 9 月 28 日) <https://www.chaincatcher.com/en/article/2292565> 〔二次〕
- [14] KuCoin News 「OpenAI App Research Head: 80–90% of Research Focused on GPT-7 and Beyond」 <https://www.kucoin.com/news/flash/openai-app-research-head-80-90-of-research-focused-on-gpt-7-and-beyond> 〔二次〕
- [15] Zerohour 「OpenAI says 80–90% of research already targets GPT-7 and ...」 <https://zerohour.day/item/188c12666fa37b922d5ff668566a32226c59d320> 〔二次・アグリゲーター〕
- [16] OpenTools 「OpenAI Projects \$50 Billion in Compute Spending for 2026」 <https://opentools.ai/news/openai-50-billion-compute-spending-2026> 〔二次〕
- [17] Wikipedia 「GPT-5.5」 <https://en.wikipedia.org/wiki/GPT-5.5> 〔二次・百科事典〕
- [18] Wikipedia 「GPT-6 Astra」 https://en.wikipedia.org/wiki/GPT-6_Astra 〔二次・百科事典〕

- [19] MacRumors 「OpenAI's New GPT-6 Sol and Luna Models Bring Astra Improvements to Cheaper Tiers」
(2026 年 9 月 22 日) <https://www.macrumors.com/2026/09/22/openai-gpt-6-sol-luna/> [二次]
- [20] Yotta Labs 「GPT-6 Release Date, Models, and Pricing: Astra, Sol, and Luna (2026)」
<https://www.yottalabs.ai/post/gpt-6-release-date-rumors-what-is-known-2026> [二次]
- [21] Codersera 「GPT-6 Sol & Luna: Pricing, Benchmarks, vs Astra」 <https://codersera.com/blog/gpt-6-sol-luna-complete-guide-2026/> [二次]
- [22] Lindy 「GPT-6 Explained: Astra, Sol, Luna, and What Each One Costs」 <https://www.lindy.ai/blog/gpt-6> [二次]
- [23] Developers Digest 「GPT-6 in 7 Minutes: Astra, Sol, and Luna Explained for Developers」
<https://www.developersdigest.tech/blog/gpt-6-in-7-minutes> [二次]
- [24] Pluralsight 「GPT-7: Release date, confirmed details, and specs」
<https://www.pluralsight.com/resources/blog/ai-and-data/gpt-7> [二次]
- [25] CellCog 「OpenAI Bel: The 10T Pretrain Leak, Graded」 <https://cellcog.ai/blog/openai-bel/> [二次・リーク評価]
- [26] Crypto Briefing 「OpenAI reportedly completes pretraining run 'Bel' with over 10 trillion parameters」
<https://cryptobriefing.com/openai-bel-pretraining-10-trillion-parameters/> [二次]
- [27] Zeniteq (「Bel」学習完了に関する記事) <https://www.zeniteq.com/openai-has-reportedly-finished-training-bel-model-with-10-trillion-parameters-vjqhkc> [二次]
- [28] X 投稿 (@ai_for_success) 「OpenAI says its internal model solved the Navier–Stokes problem」
https://x.com/ai_for_success/status/2097380527296962904 [二次・SNS]
- [29] Science 「How an AI math breakthrough ignited a controversy」 <https://www.science.org/content/article/how-ai-math-breakthrough-ignited-controversy> [二次]
- [30] Epoch AI 「OpenAI Stargate: where the US sites stand」 <https://epoch.ai/publications/openai-stargate-where-the-us-sites-stand> [二次・推計]
- [31] Shattered.io 「GPT-6 Astra: 100,000-GPU Training Run Explained [2026]」 <https://shattered.io/gpt-6-astra-100000-gpu-training-run-2026/> [二次]
- [32] TechCrunch (Rebecca Bellan) 「Sam Altman says OpenAI will have a 'legitimate AI researcher' by 2028」 (2025 年 10 月 28 日) <https://techcrunch.com/2025/10/28/sam-altman-says-openai-will-have-a-legitimate-ai-researcher-by-2028/> [二次・本文確認済み]
- [33] Sam Altman (@sama) X 投稿 (2025 年 10 月 29 日) <https://x.com/sama/status/1983584366547829073> [未検証] 自動取得不可。内容の大筋は[32]で裏付け
- [34] Dealroom 「Sam Altman on OpenAI: a platform not a product, killing Sora and Atlas to fund compute」
<https://app.dealroom.co/news/note/sam-altman-on-openai-a-platform-not-a-product-killing-sora-and-atlas-to-fund-compute> [二次・要約]
- [35] David Senra 「Sam Altman, OpenAI」 (ポッドキャスト、2026 年 8 月)
<https://www.davidsenra.com/episode/sam-altman> [一次・インタビュー]
- [36] BidClub 「Sam Altman on OpenAI's next model and the AI backlash」 <https://bidclub.ai/e/sam-altman-openai-s-next-model-ai-backlash> [二次・要約]
- [37] MIT Technology Review 「OpenAI is throwing everything into building a fully automated researcher」
(2026 年 3 月 20 日) <https://www.technologyreview.com/2026/03/20/1134438/openai-is-throwing-everything-into-building-a-fully-automated-researcher/> [二次]

- [38] Help Net Security 「OpenAI just hit a milestone on the road to self-improving AI」 (2026 年 9 月 7 日)
<https://www.helpnetsecurity.com/2026/09/07/openai-research-automation-intern/> 〔二次〕
- [39] Dataconomy 「OpenAI Reaches Its Intern-level AI Researcher Goal」 (2026 年 9 月 7 日)
<https://dataconomy.com/2026/09/07/openai-automated-research-intern/> 〔二次〕
- [40] StartupHub.ai 「OpenAI says its AI cracked Navier-Stokes」 <https://www.startuphub.ai/ai-news/ai-research/2026/openai-says-its-ai-cracked-navier-stokes> 〔二次〕
- [41] Shattered.io 「Gemini 4 Arrives With 0 Specs, Only a Timeline Vow [2026]」 <https://shattered.io/gemini-4-zero-specs-timeline-vow-2026/> 〔二次〕
- [42] Forkast 「Google's Gemini 4 Enters Post-Training — and the Three-Way Frontier Race Just Compressed」
<https://forkast.news/googles-gemini-4-enters-post-training-and-the-three-way-frontier-race-just-compressed/> 〔二次〕
- [43] OmniaKey 「Gemini 4 Release Date: What's Confirmed」 <https://omniakey.com/blog/gemini-4-release-date> 〔二次〕
- [44] QCode 「Gemini 4 Pro Release Tracker 2026: Pre-training Only, No SKU」 <https://qcode.cc/en/gemini-4-pro-status-tracker> 〔二次〕
- [45] Anthropic 「Anthropic and Amazon expand compute collaboration」
<https://www.anthropic.com/news/anthropic-amazon-compute> 〔一次〕
- [46] Anthropic 「Anthropic expands Google and Broadcom compute deal」
<https://www.anthropic.com/news/google-broadcom-partnership-compute> 〔一次〕
- [47] Unite.AI 「Anthropic IPO Filing Reveals \$42 Billion Net Loss in 2025, Reuters Reports」
<https://www.unite.ai/anthropic-ipo-filing-reveals-42-billion-net-loss-in-2025-reuters-reports/> 〔二次〕
- [48] 9to5Mac 「Anthropic upgrades Claude with new Opus 5.5 model, details here」 (2026 年 9 月 22 日)
<https://9to5mac.com/2026/09/22/anthropic-upgrades-claude-with-new-opus-5-5-model-details-here/> 〔二次〕
- [49] AIBlogly 「Anthropic Introduces Claude Opus 5.5 With Lower Pricing」
<https://www.aiblogly.com/news/anthropic-introduces-claude-opus-5-5-with-lower-pricing> 〔二次〕
- [50] 特許庁 審査第四部 審査調査室 「AI 関連発明の出願状況調査」 (2025 年 10 月、更新日 2026 年 3 月 30 日)
https://www.jpo.go.jp/system/patent/gaiyo/sesaku/ai/ai_shutsugan_chosa.html 〔一次・本文確認済み〕
- [51] 日経クロステック 「12 月に急増した特許出願件数の謎、コスト削減につながる AI 利用拡大が背景に」
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/11541/> 〔二次〕 有料記事のため見出しと要旨のみ確認
- [52] 知的財産高等裁判所 令和 7 年 1 月 30 日判決 (令和 6 年(行コ)第 10006 号 出願却下処分取消請求控訴事件、DABUS 事件控訴審) <https://www.courts.go.jp/assets/hanrei/hanrei-pdf-93757.pdf> 〔一次・本文確認済み〕
- [53] 東京地方裁判所 令和 6 年 5 月 16 日判決 (令和 5 年(行ウ)第 5001 号、DABUS 事件第一審) URL なし
〔判決原文 URL 未確認〕 事件番号は[52]の原審表示で確認。判決日は二次資料による
- [54] 財経新聞 (2026 年 7 月 6 日) DABUS 事件の最高裁判断に関する記事 URL なし 〔未検証〕 URL 未確認
- [55] よろず知財戦略コンサルティング掲載資料 (yorozuipsc.com、DABUS 事件の確定に関する記載) URL なし 〔未検証〕 個別 URL 未確認